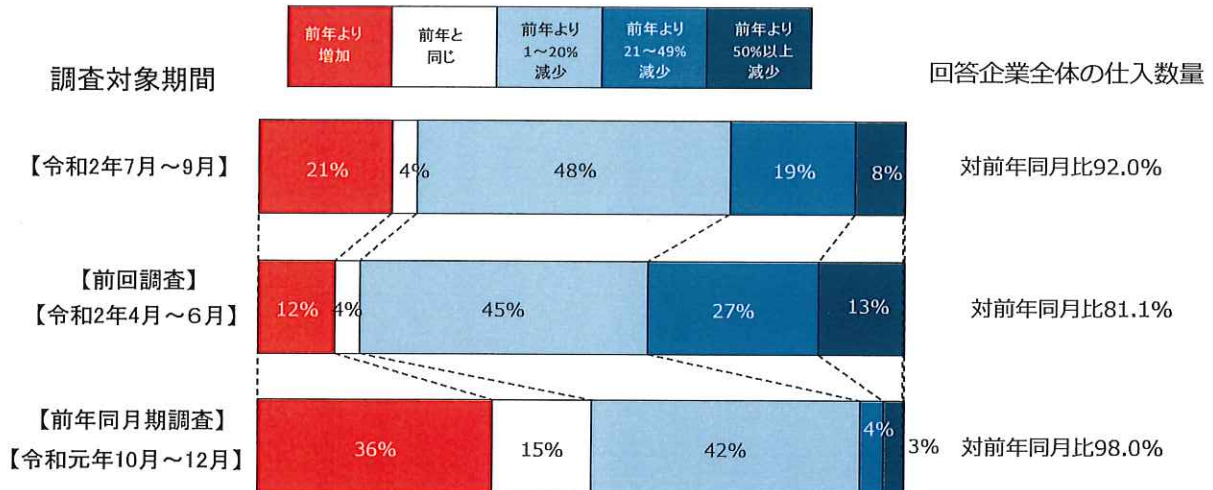


6 中食・外食事業者の米の仕入状況

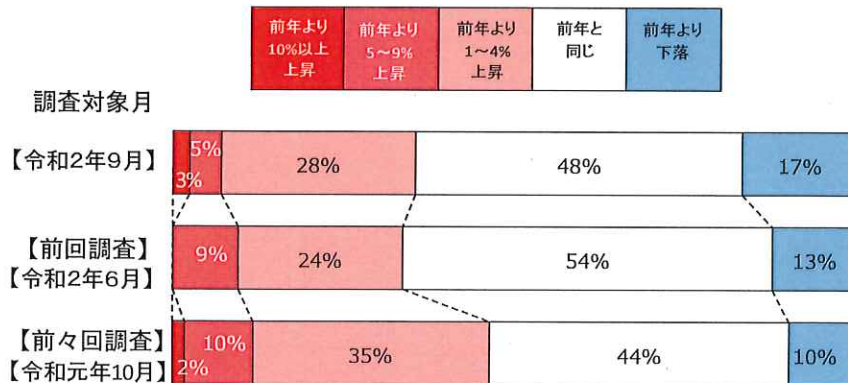
仕入数量の動向（令和2年7月～9月）（前年からの変動別企業数割合）

仕入数量の対前年同期の増減については、仕入数量が「前年同期より増加」と回答した企業の割合は2割、「前年より2割以上減少」と回答した企業の割合は3割。回答企業全体の仕入数量は対前年同月比92.0%となっている。



仕入価格の動向（令和2年9月）（前年からの変動別企業数割合）

前年同月（元年9月）の仕入価格と比べて、下落と回答した事業者は2割となっている。



注 本調査項目では仕入れた米の年産については調査していないため、必ずしも元年産米の仕入価格を表したものではありません。

<参考：米の相対取引価格（年産平均）>

●30年産：15,688円（対前年比101%） ●元年産：15,720円（対前年比100%）

<当データを利用する上での留意事項>

▶ 日本惣菜協会、日本べんとう振興協会、日本炊飯協会、日本弁当サービス協会、日本フードサービス協会の会員企業（合計359社）にご協力を頂き、令和2年7月から9月までの期間の米の仕入状況に関するアンケート調査を実施いたしました。

回答がありました130社の企業形態別の内訳は、中食事業者（43社）、外食事業者（12社）、中食・外食事業者に米飯等を提供する事業者（64社）、その他（11社）。

▶ ご協力いただいた企業は東京、大阪圏が多いため、今回取りまとめたデータは必ずしも全国の趨勢を示したものではありません。